

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

5 2013
May
Vol.661



表紙写真説明

町おこし田布施
びよんぴよこ春まつり

(田布施地域交流館)

特集 平成25年度山口県商工労働部の事業概要

- 一いま、これを伝えたい！ー 山農協同組合
- 県内の元気のある中小企業紹介② 株式会社砂本養鶏 有限会社社長門アグリスト
- 組合等ニュース
- 第58回中央会通常総会案内
- COOLBIZスタート
- メールマガジン配信登録について
- 景況動向
- 「ものづくり補助金」を活用しませんか！

—いま、これを伝えたい!—

6次産業化の積極的な推進を図る

山農協同組合

【設立の経緯】

生産価格の低迷や後継者不足、生産コストの上昇等、農業を取り巻く環境が厳しい状況の中、競争力や魅力のある一次産業を目指すため、平成23年6月に設立しました。設立以来、組合が中心となり、組合員企業が相互に連携して生産から加工、流通までを一貫して取り組む6次産業化を

進めています。

【組合員連携で6次産業化を目指す】

同組合では、全国中央会補助事業の「小企業組合成長戦略推進プログラム」を活用し、平成24年度に米粉と飼料米で肥育した卵である「こめこっこ」を使用した地産地消の菓子類の市場調査を行いました。

また、組合員企業の(有)名田島農産では、「6次産業化総合化事業計画」

の認定を受け、平成24年2月に米製粉施設を設置し、米粉の生産に取り組んでいます。また、同じく組合員企業の(株)砂本養鶏では、今年3月に「こめこっこ」の生産方法に関する「経営革新計画」の認定を受け、「こめたまご」の積極的な生産に取り組んでおります。この「こめこっこ」の生産に使用している飼料米は、組合員企業である(株)十種の郷が生産した飼料米を利用しています。また、(株)砂本養鶏で生産したお米を(有)名田島農産で製粉し、それを再び、(株)砂本養鶏がクッキー等の加工品に利用する

等、各社が密接に連携して6次産業化に取り組んでいます。

【ホワイトデー米粉スイーツフェア開催】

今年の3月には、「ホワイトデーには米粉スイーツを贈ろう!」をキャッチコピーに、「ホワイトデー米粉スイーツフェア」を開催しました。これは、米の白とホワイトを結び付けて、ホワイトデーには、米粉を使った菓子を贈るという習慣の定着を目指し、さらには、米粉の認知度を高める事を目的に企画しました。

当日は、米粉マドレーヌ作りの実演や米粉を使ったスイーツの直売を行い、多くの方が来場され、米粉の魅力を感じ取っていただけただけことから、



米製粉施設

米粉普及の手ごたえを感じることができました。

【付加価値を付けた商品づくりの推進】

今後、組合としては、(有)名田島農産の米粉と(株)砂本養鶏の「こめこっこ」を菓子等の加工品の原料として使用した、地産地消や高付加価値を強くアピールできる商品の販売を行うこととしています。

「小麦粉から米粉へ」、「とうもろこし飼料からお米飼料へ」の切り替えを促進することで、食料自給率の向上に寄与することもでき、商品化と販路拡大に向け、組合と組合員企業が一丸となって取り組んで行くこととしています。

山農協同組合

【組合概要】

- 代表者：秋本 清夫
- 組合住所：山口市名田島1146番地
- ☎ 083-972-7020 FAX 083-972-7082

【組合の主な活動】

共同生産事業 共同販売事業、市場開拓等

平成25年度

山口県商工労働部の事業概要

平成25年度は

『産業力・観光力の増強』『緊急的な雇用対策』

に重点的に取り組む

平成25年度当初予算は、「輝く、夢あふれる山口県」の実現に向けて、「5つの全力」の取組を本格始動するための『5つの全力元年予算』と位置づけ、商工労働部は、その中でも「産業力・観光力の増強」「人材力の育成」「安心・安全力の確保」「県民くらし満足度向上」について取り組む。

特に、「強い産業力なくして、明日の地域の活力は生まれない」との認識の下、『産業力・観光力の増強』を重点課題に掲げ、『瀬戸内の産業力』の再生・強化「中小企業の成長支援」「産業人材の創造」「観光力の向上」の4つを柱として全力で取り組む。

また、有効求人倍率が4年以上連続して1倍を下回るなど、雇用情勢は依然として厳しい状況にあることから、『緊急的な雇用対策』として、雇用に対する不安の解消を図り、地域経済への影響を最小限に止めるため、国や関係市町と緊密に連携を図りながら、離職者の再就職支援に取り組む。

産業力・観光力の増強

1 「瀬戸内の産業力」の再生・強化

次世代型産業の育成・集積

新次世代産業クラスター形成事業

70,000千円

本県産業の特性や強みを活かして、産学公連携により県内企業の研究開発や新事業展開を促進すること

により、「環境・エネルギー分野」及び「医療・福祉・介護分野」における次世代産業の集積を促進します。

新やまぐちLED応用製品事業化

促進事業

52,500千円

「やまぐちグリーン部材クラスター事業」の研究成果の事業拡大に向け、県内企業のLED応用製品の

展示会出展や販路開拓を支援することにより、県内企業の省資源・省エネルギー分野における新事業展開を促進します。

新液化水素エネルギー利活用プロジェクト推進事業

35,000千円

本年6月の液化水素製造工場の操業開始を契機として、液化水素エネルギー利用製品の試作開発等を支援し、環境負荷低減型の次世代産業の集積を促進します。

企業立地推進強化事業

18,500千円

市町や関係機関との連携のもと、本県のセールスポイントを最大限活かすとともに積極的な誘致活動を展開し、1社でも多くの優良企業の誘致と県内企業の設備投資の拡大に取り組めます。

企業立地促進補助事業

300,000千円

県外企業の誘致による外部活力の導入を図るとともに、県内既存企業の内発展開を促進するため、工場等の建設、関連施設等の整備に対し、その経費の一部を補助します。

産業団地分譲加速化事業

162,686千円

県関与団地の早期分譲を促進するため、企業の用地取得経費に対して補助を行う等の取組により、本県産

業団地の分譲を加速化します。

外資系企業誘致推進事業

1,155千円

東アジア（台湾）をターゲットとした外資系企業誘致を推進します。

2 中小企業の成長支援

中小企業力の向上

新やまぐち夢づくり産業支援ファンド事業

103,000千円

商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、総額10億円の投資ファンドを創設し、技術力のある中小企業の成長や農商工連携等に取り組む企業の育成を推進します。

新産業力・観光力パワーアップ資金（中小企業制度融資）

〔融資枠…50億円〕

本県の産業集積を生かした産業力や観光力の強化等に資するため、積極的な設備投資等を行う中小企業者を対象として、低利かつ長期の資金を融通します。

中小企業等知財支援拠点形成促進事業

10,330千円

国が設置する中小企業等の知的財産相談に対応する一元的な窓口である「知財総合支援窓口」に、企業、地域における現場ニーズへの対応や大学、公設試、支援機関等との連携

による支援等を行う知財専門人材を配置します。

新地域産業成長促進事業

106,000千円

産学公連携による研究開発、経営革新・技術革新を通じて更なる事業拡大を目指す企業の取組を支援し、産業振興と雇用の拡大を推進します。

地域中小企業総合経営支援事業

30,221千円

コーディネーター（中小企業診断士や金融機関OBなど）による窓口相談等により、中小企業の経営資源の確保等の支援や、創業講座等の受講環境を提供し、中小企業の振興、経営の安定を図ります。

拡中小企業制度融資

〔融資枠〕870億円

中小企業者が必要とする低利かつ長期の資金を供給することにより、中小企業者の経営の安定等を図ります。

小規模事業経営支援事業

1,254,255千円

小規模事業者の経営や技術の改善発達を図るため、その支援専門機関である商工会、商工会議所、山口県商工会連合会が行う各種の取組に対し助成します。

中小企業団体育成指導事業

9,420千円

事業協同組合の設立をはじめとする中小企業の連携、共同化を推進するため、その支援専門機関である山口県中小企業団体中央会が行う各種の取組に対し助成します。

経営安定特別相談事業

3,732千円

県内10カ所に「経営安定特別相談室」を設置し、経営難等に直面している中小企業からの事前の相談申出を受け、再建の方策や円滑な整理を進めることで、倒産に伴う社会的混乱を未然に防止します。

国際経済交流促進事業

2,240千円

中国との経済取引を促進するため、山口県日中経済交流促進協会が行う経済交流事業に対して支援を行います。

東アジア地域国際展示商談会開催事業

2,434千円

県内中小企業と東アジア地域内の企業との経済取引を促進し、本県経済全体の活性化を図るため、商談会を開催します。

ふるさと産業の振興

新農商工連携成長支援事業

15,000千円

農商工連携に取り組み中小企業の更なる成長を促進するため、コーディネーターを配置し、商品のブラッシュアップや販路拡大を重点的に支援します。

ふるさと産業推進事業

1,000千円

ふるさと産業の振興に対する県民の理解及び関心を高めるため、一元的な情報発信による普及啓発を推進します。

3 産業人材の創造

産業人材の育成

新ものづくり人材育成強化事業

21,997千円

若年技能者から熟練技能者までの各段階に応じた技能向上や人材育成の取組を支援することにより、優れた技能の継承と、本県ものづくり産業を担う中核人材の育成を促進します。

新次代を担う産業人材育成推進事業

13,412千円

企業が持つ高度な技術力や人材育成ノウハウなどの「企業力」の高校教育への積極的な活用や、技能尊重気運を醸成するための小・中学校向

けものづくりイベントの開催など、発達段階に応じた系統的な教育活動を通じて、次代の山口県産業を担う産業人材の育成を促進します。《教育委員会との共管事業》

新中小企業人材確保・定着支援事業

40,838千円

若者就職支援センターを活用した中小企業情報の収集・発信、出会いの場の提供、採用や職場定着に係る企業相談などにより、中小企業の優秀な人材の確保・定着を支援します。

新地域企業インターンシップ総合推進事業

10,136千円

県内及び県外に進学した大学生等を対象に、県内の地域に密着した企業におけるインターンシップを総合的に推進することにより、県内就職を促進するとともに、県内企業が求める産業人材を育成します。

新県外進学者Uターン就職促進事業

2,330千円

県外の大学等へ進学した県出身の学生などUターン就職希望者に対し、県内企業との出会いの場の提供などを通じて、県内へのUターン就職を促進します。

就業の促進

新高校生県内就職総合サポート事業

17,442千円

若者就職支援センター内に「高校

生就職支援チーム」を設置し、連携

を図りながら、求人開拓やマッチン

グに関する情報収集・集約機能を強

化し、就職を希望する高校生の早期

内定に向け、総合的に支援します。

《教育委員会との共管事業》

地域若者サポートステーション機能

強化事業 8,802千円

一定期間無業の状態にある者

(ニート)に対し、個別のかつ継続

的な支援を行う「地域若者サポー

トステーション」において、専門家

によるきめ細かな相談機能等を付加

することにより、若者の職業的自立

の強化及び県内就職の促進を図り

ます。

子育て女性等の再就職支援事業

48,452千円

子育て等のため長期間職に就いて

いない女性や母子家庭の母等に対

し、託児付きの職業訓練等を実施

することにより働く意欲のある女性

等の就職を促進します。

やまぐち子育て応援企業育成事業

1,380千円

男女がともに働きながら安心して

子どもを生み育てることができ

る環境の整備に向けた事業者の取

組を支援するとともに、社会全体で

子育てを応援する気運の醸成を図

ります。

者の就職を支援します。

いきいきシルバー世代就業支援事業

8,900千円

高齢化が進む中、定年退職後など

の就業意欲のある高齢者に多様な

就業機会を提供することにより、魅

力ある生涯現役社会づくりを推進

します。

自立・就労総合サポート事業

123,809千円

生活困窮者に対する包括的な相談

支援、多様な就労支援や生活支援

などにより、生活困窮者の状態に

応じ、自立・就労等を支援します。

安心・安全力の確保

くらしを支える雇用の場づくり

緊急雇用創出事業臨時特例基金関連

事業 2,581,100千円

国の交付金を原資に、県において

緊急雇用創出事業臨時特例基金を

造成し、これを財源として、離職を

余儀なくされた失業者等に対して、

今後成長が期待される分野におい

て地域の産業・雇用施策等に沿った雇用・

就業機会の創出に資する事業を

実施します。

労働福祉金融対策費

1,321,262千円

低利の貸付制度により、企業倒産

又は事業不振、縮小等により離職

を余儀なくされた方の生活安定や

緊急的な雇用対策

県内で相次いでいる大規模な雇用

調整の実施に対応し、離職者の県

内企業への早期再就職や、各地域

における緊急的な雇用機会の創出

等を支援します。

特雇用のセーフティネット強化事業

247,421千円

大規模な事業撤退等が、地域経済

に与える影響を最小限に止めるた

め、国、県、関係市町が連携し、

労働者福祉対策事業

4,356千円

山口県労働者福祉協議会が実施

する勤労者福祉に資する事業を支

援します。

※詳しくは、山口県のホームページ

(<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>) をご覧下さい。

新ブランド卵「こめこっこ」と 新たな加工品開発・販売に取り組む

株式会社砂本養鶏

山農協同組合の組合員である(株)砂本養鶏は、3月31日付で「経営革新計画」の承認を受けました。同社は、光市にて養鶏業を営んでおり、とうもろこしの収穫後無農薬の餌と、でざるだけストレスの少ない平飼という飼育環境にこだわった卵づくりに力を入れていきます。

ニューを開発しています。また、「こめこっこ」と山農協同組合員である(有)名田島農産の米粉を利用した「米・米ブランド」の構築、「米・米ロールケーキ」等の菓子類の開発を目指し、新たな市場を創造していきます。

今回の経営革新計画では、養鶏に必要な飼料の大部分は現在とうもろこしを利用していますが、穀物価格の上昇が続いています。そこで、新たな飼料として県内産のお米(飼料米)を利用することで生産量や価格の安定性を保ち、さらに食料自給率の向上に寄与するとともに、餌の生産者の顔まで見えるという地産地消の安心感を届ける取り組みを行い、この養鶏が生んだ新たなまごを「こめこっこ」と名付けました。

「こめこっこ」は、通常の卵と比べてコレステロールが少なく、皮膚の再生を促進にさせる効果があるといわれるレチノールや心臓病やがんの発病率を低下させると言われるオレイン酸が高いというデータが出ています。これらの有効成分を利用して、新感覚プリン等の加工品や、ヘルシーオムライス等の新メ



お問い合わせ先

株式会社砂本養鶏

代表者…砂本 光治

〒743-0002

山口県光市浅江1400番地

☎0833-71-0702

FAX 0833-72-2773

URL <http://www.tamagoland.co.jp/>

長州黒かしわを活用した

循環型の農場を目指して

有限会社長門アグリリスト

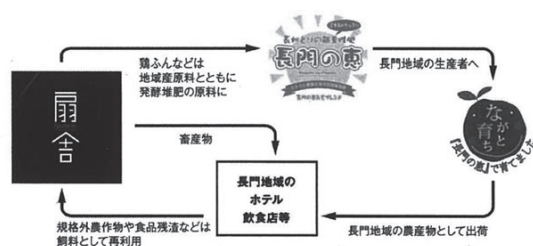
協同組合仙崎新鮮組は、長門市で周辺観光施設とリンクした「ヒトに優しい食」の提供拠点として、組合員の取り扱う仙崎の新鮮な水産物や、農産物等を地元消費者や観光客等に提供するための共同販売施設を設置し、新規市場の創出や事業機会の確保により組合員企業の経済的地位の向上と地域の活性化に貢献することを目的に設立されました。

同組合の組合員企業である、(有)長門アグリリストは、山口県のオリジナル地鶏であり、天然記念物「黒柏鶏(くろかしわ)」の稀少性や旨味・歯ごたえ等の特性を有した「長州黒かしわ」の生産農場である「扇舎(fanfarm)」をこのほど完成させました。

この鶏舎では、循環型を志向する農場として、生産に必要な飼料等や生産によって発生する鶏糞等を地域内で循環させることで、環境負担をできるだけ低くした飼育方法への取り組みを行っていきま

メートルあり、飼育スペースを広くとり、のびのびとした飼育環境を実現しました。この鶏舎の完成により、「長州黒かしわ」を年間2万羽出荷できる体制の確立を目指します。

(循環型農場としての取り組み図)



お問い合わせ先

有限会社長門アグリリスト

代表者…末永 裕治

〒759-4102

山口県長門市西深川上川西

☎0837-22-4671

FAX 0837-22-4555

俵山温泉の「還元力」を発信！

俵山温泉合名会社

俵山温泉合名会社（宮野修治理事長）では、俵山温泉の活性化対策として、中央会の「平成24年度中小企業活路開拓調査・実現化事業」を活用し、温泉の泉質や温泉利用者のニーズ調査を主体とした事業を実施してきました。

その結果、俵山温泉は、酸化還元反応を示す値が極めて高く、強い抗酸化作用・還元力があり湯が酸化しにくいいため、鮮度の高い湯が維持され還元効果が持続するなどが判明しました。

これを踏まえ、4月15日(月)に俵山の湯が名湯とされるのは、温泉の持つ抗酸化作用・還元力と温泉に溶け込んでいる水素の濃度にある、として大西長門市長に同席いただき記者発表しました。



宮野理事長は「俵山温泉を『再生の温泉』として個性化と差別化を図り、俵山の温泉力を発信し活性化に努めたい。」と今後の抱負を話されました。

春本番！町おこし田布施びよこ春まつり開催！

協同組合田布施地域交流館



4月20日(土)、協同組合田布施地域交流館（守田英正理事長）は、恒例の地域交流館三大祭り「町おこし田布施びよこ春まつり」を開催しました。

当日は、まず、交流館からのプレゼント「無料のぜんざいの振るまい」があり、寒い体を温めてから店内へ入っていただき、ここでは、菓子工房の大人気商品である「生苺ロールケーキ」などの販売を行いました。また、買い物をしたレシートを持って、空くじなしのレシートスパーくじや恒例の重量当てクイズなど盛りだくさんの企画が催されました。また、海鮮バーベキューの焼きガキや惣菜工房自慢のエビ天うどんなどの飲食コーナーも充実し、多くの家族連れで大いにぎわいました。

新たな生活の器

「山口陶漆器」を開発

大内塗漆器振興協同組合
山口県赤間硯生産協同組合

「山口県伝統的工芸品産地連携活性化委員会」では、「萩焼」（萩陶芸家協会・三輪休雪会長）、「大内塗」（大内塗漆器振興協同組合・富田潤二理事長）、「赤間硯」（山口県赤間硯生産協同組合・日枝敏夫理事長の各産地が連携して、新商品の開発に取り組んできました。このほど、「萩焼の陶器」に「大内塗の技法を用いて漆を塗って」焼き付けを行い、さらに「赤間石の風合いも交えた」新しい生活の器「山口陶漆器」を商品開発しました。

【お問い合わせ先】大内塗漆器振興協同組合組合員の有限会社中村民芸社（☎083-927-0619）



ひろしま菓子博に 県内菓子を展覧

山口県菓子工業組合



4月19日(金)、「第26回全国菓子大博覧会」（ひろしま菓子博）が広島市の旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館とその周辺で始まり、会場のパビリオン8館のうち「全国お菓子めぐり館」では、全国を6ブロックに分けて、各都道府県のブースが設置されています。

山口県菓子工業組合（小熊坂孝司理事長）では、組合員33社88点の商品を展示しています。

組合の恒松専務理事は、「山口県を代表するお菓子を展示しています。ぜひ、山口の素晴らしいお菓子を来場者の方に知ってほしい。」と話されました。

同博覧会では、厳島神社を砂糖で再現した模型菓子、本物そっくりの孔雀などの細工菓子なども楽しめます。5月12日(日)まで開催されています。

普通入場料は、大人2,000円、シニア（開催最終日時点で満65歳以上）1,600円、高校生1,400円、小・中学生800円。

山口県中小企業団体中央会 第58回 通常総会のご案内

日 時：成25年 6月10日(月) 13:30～

場 所：ホテルかめ福 山口市湯田温泉4-5 ☎083-922-7000

会員の皆様の多数のご出席をお願いいたします。

お問い合わせ先：総務課 ☎083-922-2606 (担当：佐々木・前田)



昨年度通常総会より

夏のカイトキ、楽しくつくろう。

COOLBIZ

本会では、クールビズを5月1日(水)よりスタート!
クールビズ期間：5月1日(水)～10月31日(木)

メールマガジン配信登録しませんか!

山口県中小企業団体中央会は会員サービスの一環として、1月より会員の皆様へホットなお役立ち情報をいち早くお届けするメールマガジンを配信しています。また、組合員企業の皆様への直接配信も行います。配信をご希望の方は、中央会HPのメルマガ配信フォームに必要事項をご入力頂き、ご登録下さい。登録は無料です。

ご登録はこちらから (<http://axis.or.jp/mail-delivery>)

月次景況調査結果

平成25年3月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

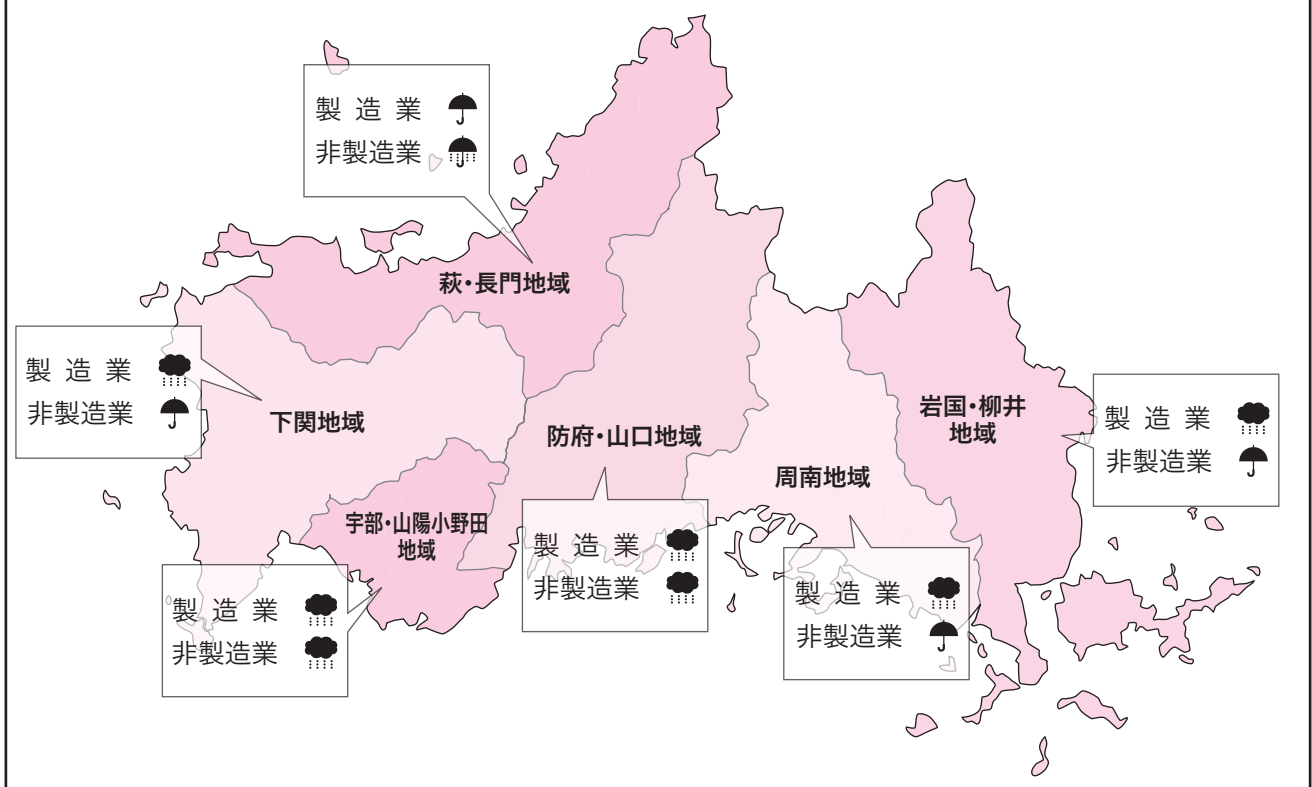
	業 種	3月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	→
	織 維 工 業	☁	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↗
	一 般 機 器	☁	→
	輸 送 機 器	☂	↗
非 製 造 業	卸 売 業	☂	↗
	小 売 業	☂	↘
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☂	↗
	建 設 業	☁	→
	運 輸 業	☂	→

山口県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、悪いと感じている人が、2月より減少している。パン・菓子製造業では円安で原材料が値上がり気味。窯業・土石製品では、関連する業種の廃業が相次いでいる。サービス業では、乗用車の平均車齢が7.95年となり、20年連続で高齢化。建設業からは、東北震災と円安で資材確保に影響がでている等の報告である。全国的には、一部大手企業では好況との報道であるが、地方中小企業では、未だ実感が得られていない。

DI値

30以上	☀	－30以上－10未満	☂
10以上30未満	☁	－50以上－30未満	☂
－10以上10未満	☁	－50未満	☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成25年3月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製造業	食料品	☂	○ 好況感はまだない。円安で原料も上昇気味。(パン・菓子製造業) ○ 3月も速報値で+3.4%と対前年同月をクリア。2月～3月は例年に比べ降雪が少なく、海況も比較的安定していたことが要因。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☁	○ 受注状況は引き続き低調。海外は特に中国生産が不採算となり、価格転嫁できないものは縮小と中止をしている。(下着類製造業) ○ 受注状況は好調である。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☂	○ 木材価格は、対前年同月比で▲10%となり、そのため製材工場への出荷量も微減となった。(製材業・木製品製造業)
	印刷	☂	○ 3月の駆け込み需要等も減り、需要の絶対量が減少している。このため受注価格の下落も進み、利益が出ない。(印刷)
	窯業・土石製品	☂	○ 前年度に比べて出荷数量は増えているが、長い間、碎石単価が上がらないため、売り上げは低いまま。(碎石製造業) ○ 土建業の廃業が相次ぎ、上工事だけが仕事であったのが、基礎工事をも実施するようになった。その為に売上高が増加している。(石工品製造業)
	一般機器	☁	○ 円安や株高等景気指数は上昇傾向にあるが、アベノミクス効果が地方に波及するにはまだまだ時間がかかると思う。景気上昇の実感としてはまだない。(一般機械器具製造業) ○ 金型製造関係の生産状況は、今年に入りリピート金型が多い為、3月の設備操業度は向上した。(特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☂	○ 車両輸送部門は低迷の状況が当分続く見込みで、明るさが見えない。精密加工は短納期品の受注で春先まで作業量に恵まれているが、その先は不透明な状況。(鉄道車両・同部品製造業)
非製造業	卸売業	☂	○ メディアの発表では、円安・株高により一部大手企業では好況となり、賞与増が報じられているが、我々、中小の卸・小売業界では、まだ何の影響も見られない。(柳井市)
	小売業	☂	○ 3月は移動時期で、商品は、買取が若干増加したように感じる。貴金属は高値で推移している。(中古品小売業) ○ 売上、客数共に前年を下回り厳しい状況が続いている。(周南市)
	商店街	☂	○ 来街者は、昨年同月より相当減ってきている。アベノミクス効果がなく、賃金UPもない。高齢化率も人口の36%を占め、人口も1年間で1,000人近く減り、5年先、10年先が思いやられる。(萩市)
	サービス業	☂	○ 3月は卒業等の人の動きが有り、割に売上のある月であるが、まだまだ消費者の財布の紐が固く、昨年の3月と比べると売上は微減している。(美容業) ○ 乗用車の平均車齢が7.95年となり、20年連続で高齢化。点検整備が怠りがちになる古い車への対応が今後ますます重要になる。(自動車整備業)
	建設業	☁	○ 営業力のある会社と、そうでない会社の差が出てきている。また、材料その他の値上げが聞かれる。公共工事の前倒し発注に期待する。(鉄骨工事業) ○ 東北震災と円安の影響で、コンクリート、鉄材等の材料費、臨時的な人件費が上昇。一部の企業では、資材の確保に支障が出ている。(土木工事業)
	運輸業	☂	○ 期末の3月は運送業界においても繁忙期であり、特に製造業界の「前倒し」出荷などの影響もあって、荷物量は確保できている。油の値上がりが見え続けているが、収益に影響を与えている。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比▲12.9%(平成25年2月1日～3月20日分)となり、6月以降の大幅な減少に歯止めがかからないでいる。円安と株価上昇で自動車産業等、輸出関連産業では景気が回復しているようだが、地方の個人消費は一向に回復しているように思われない。(一般旅客自動車運送業)

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

「ものづくり補助金」を活用しませんか!

国の緊急経済対策（平成24年度補正予算）の重点事業の一つとして、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発（テスト販売を含む）や設備投資を支援するため、「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」（通称：ものづくり補助金）が創設され、山口県地域事務局である山口県中小企業団体中央会は、本補助金の申請を受け付けています。

■ 事業イメージ

試作開発、設備投資のための補助等

■ 補助金額・補助率

補助上限額：1,000万円 補助率：3分の2（最大で1,500万円の事業に1,000万円の補助）

■ 補助対象経費

原材料費、機械装置費、外注加工費、技術導入費、直接人件費、委託費、知的財産権関連経費、専門家謝金、専門家旅費、運搬費、雑役務費

■ 補助対象者・補助対象事業

日本国内に本社及び開発拠点を有するものづくり中小企業・小規模事業者であり、以下のすべての要件を満たす者

(1) 顧客ニーズにきめ細かく対応した競争力強化の形態として、(1)小口化・短納期化型、(2)ワンストップ化型、(3)サービス化型、(4)ニッチ分野特化型、(5)生産プロセス強化型の類型のいずれかに概ね合致する事業であること ※詳細は裏面をご参照ください

(2) 認定支援機関^(注1)に事業計画の実効性等が確認されていること

(注1) 地域の金融機関や公的な支援機関、税理士や弁護士、中小企業診断士など国の認定を受けた機関です。

(3) 「中小ものづくり高度化法」22分野の技術を活用した事業であること

■ 受付期間

複数回受け付けします。(申請は郵送でお願いします)

1次公募は終了し、2次公募は5月末から6月初旬を予定しています。(全国同一の取扱いです)

※採択は、山口県審査会及び全国審査会を経て決定されます。

私たちがサポートします!!

本事業を円滑に実施するため、本会に「ものづくり支援室」を設置し、ものづくり技術の専門家である5名のコーディネーターを委嘱し、ものづくり中小企業を積極的に支援していくこととしております。

5名のコーディネーターの方々をご紹介します。どうぞ、お気軽にご相談ください。



しらがみ ていぞう
白上 貞三 氏
(チーフコーディネーター)



きた じゅんいちろう
北 淳一郎 氏



ひら た えいざぶろう
平田 栄三郎 氏



たまおか しんり
瑞岡 真利 氏



さ えき まさゆき
佐伯 昌之 氏

申請先・お問い合わせ先
(山口県地域事務局)

山口県中小企業団体中央会 ものづくり支援室

山口市中央4丁目5-16 山口県商工会館6階

TEL 083-922-2606 (代表)

TEL 083-902-3755 (ものづくり支援室)

FAX 083-925-1860

H P <http://axis.or.jp/>

今月の

さわやかレター

2013
May



赤帽山口県軽自動車運送協同組合
藤井 啓子さん（右）、出羽 憲子さん（左）

現在、組合業務全般を担当されている藤井さんと出羽（いずは）さん。
趣味を伺うと、藤井さんは、「手芸（端切れを使った小物作りなど）、フェ
イスタオルの収集、ガーデニング」と、出羽さんは、「キティちゃんグッズ
の収集」と応えられました。

モットーは、お二人とも、笑顔を絶やさないこと。

事務局職員としては、いつも明るい声で、電話の対応をすることを心掛
けているそうです。

組合のPRをお願いしたところ、「赤帽は、単なる輸送ではなく、荷主さ
んの心を運び、地域社会に貢献する組合です。また、拠点数は、全国に51
組合、このため、「地域密着型」のネットワークで、あらゆるビジネスニ
ーズにお応えでき、「安心・満足」を提供しています。」と笑顔で答えていた
だきました。

表紙写真

町おこし田布施ぴょんぴよこ春まつり
（田布施地域交流館）

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社